第6章、地区別のバリアフリー方針

各移動等円滑化促進地区のバリアフリー化促進にあたっては、５章で示したバリアフリー化促進の考え方を基本に、地区の特徴や課題を踏まえて取組を進めることが必要です。

本章では、4章で設定した移動等円滑化促進地区について、具体の位置及び区域、生活関連施設、及び生活関連経路を示します。あわせて、地区の特徴や課題を踏まえた、各地区のバリアフリー方針を示します。

なお、生活関連施設は令和3年1月1日時点のものを抽出しています。

以下に、移動等円滑化促進地区の一覧表があります。

１、JR、京成幕張本郷地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、地域拠点

面積、促進地区、37.3ha

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JR幕張本郷駅、59,112人、2019年度

京成幕張本郷駅、16,835人、2019年度

バス便数、幕張本郷駅、いちにちあたり513本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、7施設

生活関連経路延長、約1450メートル

500メートル圏人口、9,296人

500メートル圏高齢者数、1,182人

500メートル圏高齢化率、13％

なお、JR幕張本郷駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

駅南口側は、都市機能誘導区域を含むよう地区拡大

駅北口側は、千葉幕張本郷郵便局を含むよう地区拡大

なお、JRの乗降客すうは、乗車人員公表ちを2倍した値、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

JR、京成幕張本郷地区は、駅周辺の人口が、促進地区のうちでも比較的多く、高齢化率の低い地区です。駅から500メートル程度の範囲内に、主に地域住民の利用が想定される公共施設や、集会施設が立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅であり、南西側に都市機能誘導区域が設定されています。

JR幕張本郷駅は乗降客すうが多い駅です。バス便数も多く、特に海浜幕張・イオンモール方面へのアクセスが充実しています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、一部視覚障害者誘導用ブロックの規格が古い箇所があるほか、生活関連施設への案内誘導や、道路から施設でいりぐちへの移動の連続性が十分ではない状況が見受けられ、経路・施設間の一体てきなバリアフリー化が求められます。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

駅前広場の利便性を向上します。

1. JR、京成幕張本郷地区の地図があります。地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、JR幕張本郷駅、2、京成幕張本郷駅

公共施設、1、幕張年金事務所、2、幕張本郷市民センター、3、千葉幕張本郷郵便局

集会施設、1、幕張本郷公民館

宿泊施設、1、メイプルイン幕張

なお、幕張本郷市民センターと、幕張本郷公民館は、どういつ建築物内

写真が2枚あります。JR幕張本郷駅と、幕張本郷駅前バス停の写真です。

2

JR/京成幕張地区

■地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、重要地域拠点

面積、促進地区、88.1ha

旅客施設、いちにちあたり2000人以上、乗降客すう

JR幕張駅、31,888人、2019年度

京成幕張駅、8,497人、2019年度

バス便数

JR幕張駅、いちにち当たり126本、片道、上下線平均、2017年

京成幕張駅、いちにち当たり34本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、8施設

生活関連経路延長、約4,310メートル

500メートル圏人口、8,105人

500メートル圏高齢者数、1,975人

500メートル圏高齢化率、24%

なお、JR幕張駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

隣接するJR 海浜幕張地区、JR 新検見川、京成検見川地区と重複しないように地区境界を精査

なお、JRの乗降客すうは乗車人員公表ちを2倍した値

バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

　JR/京成幕張地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的多く、高齢化率は平均的な地区です。駅から500メートル程度の範囲内に、主に地域住民の利用が想定される公共施設や集会施設が立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅で、都市機能誘導区域が設定されている駅北側では東幕張土地区画整理事業が事業ちゅうであり、駅前広場の新設が予定されています。

　JR幕張駅は、乗降客すうが平均的な駅です。北口では土地区画整理事業の一環として暫定バスロータリーが整備され、バス便数は少ないですが、海浜幕張駅・幕張メッセ方面へのアクセスが充実しています。

　駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、線路の南北間や鉄道駅間のわかりやすい誘導案内や駅北口側の駅前広場整備による利用環境・安全性の向上が課題となっています。また、JR新検見川駅との駅徒歩圏が重なっており、花見川区役所周辺などへのバリアフリー化が求められます。

■バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体てきなバリアフリー化を図ります。

2

JR/京成幕張地区の地図があります。地図に表示されている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設

1、JR幕張駅

2、京成幕張駅

公共施設

1、幕張北口郵便局

2、幕張郵便局

集会施設

1、幕張公民館

2、幕張コミュニティセンター

大規模店舗

1、BOOKOFFスーパーバザー14号千葉幕張店（Makuhari-BOX CHIBA NISSAN内）

2、イトーヨーカドー幕張店

写真が2枚あります。JR幕張駅と、京成幕張駅の写真です。

3、JR新検見川、京成検見川地区

■地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、地域拠点

面積、促進地区、79.8ha

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すうJR新検見川駅、45,406人、2019年度

京成検見川駅、4,050人、2019年度

バス便数新検見川駅南口、いちにち当たり353本、片道、上下線平均、2017年新検見川駅、いちにち当たり280本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、10施設生活関連経路延長、約3,230メートル500メートル圏人口、8,699人500メートル圏高齢者数、1,859人500メートル圏高齢化率、21%なお、JR新検見川駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点・都市機能誘導区域を含むよう地区拡大

・京成検見川駅を含むよう地区拡大なお、JRの乗降客すうは乗車人員公表ちを2倍した値、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

　JR新検見川、京成検見川地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的多く、高齢化率は平均的な地区です。駅から500メートル程度の範囲内に、大規模店舗が立地しています。また、駅から1キロメートル以上離れた場所に、花見川区役所など公共施設が集積しています。駅周辺の主な土地利用は住宅であり、駅周辺に都市機能誘導区域が設定されています。

　JR新検見川駅は、乗降客すうが比較的多い駅です。バス便数も多く、北口側はさつきが丘団地、西こなかだい団地、花見川区役所方面へ、南口側からは検見川浜駅方面へのアクセスが充実しています。駅北口からバスロータリーまでは200メートル程離れており分かりにくいうえに、自動車と歩行者が錯綜しているとの声があり、案内の充実及び安全の確保が求められます。また、駅構内の一般トイレ入口には階段があることから、バリアフリー化が求められています。

　京成検見川駅周辺は歩道のない道路が多く、安全な移動への配慮が必要です。また、JR幕張駅との駅徒歩圏が重なっており、花見川区役所周辺などへの連続的な移動への配慮が求められます。

■バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

バス停留所の利用環境の向上、及びバス停留所と生活関連施設間の安全・安心な誘導を図ります。

3

JR新検見川、京成検見川地区の地図があります。地図に表示されている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設1、JR新検見川駅2、京成検見川駅

公共施設1、花見川区役所2、花見川区役所前郵便局3、千葉はなぞの郵便局4、花見川市税出張所

福祉施設1、千葉市あんしんケアセンター花園

保健施設・病院1、朝日ヶ丘医院2、花見川保健福祉センター

大規模店舗

1、西友新検見川店

なお、花見川区役所と花見川市税出張所はどういつ建築物内

写真が2枚あります。JR新検見川駅駅前広場と、京成検見川駅の写真です。

4

JR/京成稲毛地区

■地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、重要地域拠点

面積、促進地区、185ha

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JR稲毛駅、99,932人、2019年度

京成稲毛駅、7,136人、2019年度

モノレール穴川駅、3,718人、2019年度

バス便数

JR稲毛駅東口、いちにち当たり789本、片道、上下線平均、2017年

JR稲毛駅西口、いちにち当たり530本、片道、上下線平均、2017年

京成稲毛駅、いちにち当たり49本、片道、上下線平均、2017年

穴川駅、いちにち当たり278本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、22施設

生活関連経路延長、約5,600メートル

500メートル圏人口、12,749人

500メートル圏高齢者数、2,180人

500メートル圏高齢化率、17%

なお、JR稲毛駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

・都市機能誘導区域を含むよう地区拡大

・京成稲毛駅、稲毛公民館（稲毛公園）を含むよう地区拡大

・穴川駅を含むよう地区拡大

なお、JRの乗降客すうは乗車人員公表ちを2倍した値

バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

　JR/京成稲毛地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも多く、高齢化率の低い地区です。駅から500メートル程度の範囲内に、病院や福祉施設、大規模店舗が集積しています。また、駅から1キロメートル以上離れた場所に稲毛区役所をはじめ公共施設が集積しています。

　駅周辺の主な土地利用は住宅であり、JR稲毛駅の南東側に設定されている都市機能誘導区域内の大規模倉庫跡地周辺では、市街地再開発事業に向けた検討が進んでいます。

　JR稲毛駅は乗降客すうが多い駅です。バス便数もJR千葉駅に次いで多く、駅西側は稲毛海岸駅方面へ、駅東側は稲毛区役所方面へのアクセスが充実しています。東口駅前広場は再整備に向けた検討が行われています。

　稲毛区役所方面へはバス利用が多いことが想定されるため、区役所付近のバス停の利便性向上やわかりやすい案内誘導が求められます。また、JR稲毛駅と京成稲毛駅間を結ぶ道路は歩道がなく交通量も多いため、歩行環境の改善が求められます。

■バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体てきなバリアフリー化を図ります。

バス停留所の利用環境の向上、及びバス停留所と生活関連施設間の安全・安心な誘導を図ります。

4

JR/京成稲毛地区の地図があります。地図に表示されている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設

1、JR稲毛駅

2、京成稲毛駅

3、モノレール穴がわ駅

公共施設

1、稲毛区役所

2、千葉小仲台郵便局

3、稲毛駅前郵便局

4、稲毛市税出張所

集会施設

1、こなか台公民館

2、稲毛公民館

3、穴がわコミュニティセンター

福祉施設

1、子育てひろば・いなげ（稲毛保育園内）

2、千葉市あんしんケアセンター小仲台

3、千葉市あんしんケアセンター稲毛

保健施設・病院

1、稲毛病院

2、稲毛保健福祉センター

3、独立行政法人 放射線医学総合研究所

文化・教養・教育施設

1、稲毛図書館

2、敬愛大学

大規模店舗

1、マルエツ稲毛店

2、イオン稲毛店

3、ペリエ稲毛

都市公園

1、稲毛公園

なお、稲毛区役所と稲毛市税出張所はどういつ建築物内

写真が1枚あります。JR稲毛駅駅前広場の写真です。

5

JR西千葉、京成みどり台地区

■地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、地域拠点

面積、促進地区、122ha

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JR西千葉駅、44,000人、2019年度

京成みどり台駅、7,837人、2019年度

京成西のぶと駅、2,636人、2019年度

バス便数

西千葉駅、いちにち当たり186本、片道、上下線平均、2017年

西千葉駅西口、いちにち当たり8本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、12施設

生活関連経路延長、約3,010メートル

500メートル圏人口、7,514人

500メートル圏高齢者数、1,347人

500メートル圏高齢化率、18%

なお、JR西千葉駅を中心に500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

・都市機能誘導区域、京成西のぶと駅を含むよう地区拡大

なお、JRの乗降客すうは乗車人員公表ちを2倍した値

バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

　JR西千葉、京成みどり台地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも平均的となっており、高齢化率が比較的低い地区です。駅から500メートル程度の範囲内に、病院や大学、大規模店舗などが立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅及び公共公益用地（大学）であり、駅周辺に南北に長く都市機能誘導区域が設定されています。

　JR西千葉駅は、乗降客すうが比較的多い駅です。バス便数は比較的少なく、北口側からさくさべ駅方面へアクセスしています。京成みどり台駅には路線バスがありません。

　道路や主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、JR西千葉駅南北の駅前広場は整備時期が古く、視覚障害者誘導用ブロックの規格や敷設方法が不適切な状況があったり、身体障害者用乗降場が無い（南口）などの課題があります。また、改札階が半地下となっており、長いスロープでのアプローチとなっていることから、駅前広場と駅の接続部における更なるバリアフリー化が求められます。

■バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

駅前広場の利便性を向上します。

5

JR西千葉、京成みどり台地区の地図があります。地図に表示されている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設

1、JR西千葉駅

2、京成みどり台駅

3、京成西のぶと駅

公共施設

1、千葉緑町郵便局

2、西千葉駅前郵便局

集会施設

1、中央コミュニティセンター松波分室

保健施設・病院

1、増田病院

文化・教養・教育施設

1、千葉経済大学

2、国立大学法人　千葉大学西千葉キャンパス

3、千葉経済大学短期大学部

大規模店舗

1、西友西千葉店

2、ペリエ西千葉

写真が2枚あります。JR西千葉駅駅前広場と、京成みどり台駅の写真です。

6

千葉都心地区

■地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、都心

面積、促進地区、607ha

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JR千葉駅、215,658人、2019年度

JR東千葉駅、5,292人、2019年度

JR千葉みなと駅、34,398人、2019年度

JR本千葉駅、23,802人、2019年度

京成千葉駅、29,464人、2019年度

京成千葉中央駅、18,321人、2019年度

京成新千葉駅、2,025人、2019年度

モノレール千葉みなと駅、16,653人、2019年度

モノレール市役所前駅、5,186人、2019年度

モノレール千葉駅、26,815人、2019年度

モノレール葭川公園駅、2,187人、2019年度

バス便数

千葉駅東口、いちにち当たり1,179本、片道、上下線平均、2017年

千葉駅西口、いちにち当たり150本、片道、上下線平均、2017年

千葉駅北口、いちにち当たり2本、片道、上下線平均、2017年

千葉みなと駅、いちにち当たり102本、片道、上下線平均、2017年

千葉みなと駅西口、いちにち当たり38本、片道、上下線平均、2017年

本千葉駅前、いちにち当たり46本、片道、上下線平均、2017年

千葉中央駅、いちにち当たり29本、片道、上下線平均、2017年

千葉中央駅西口、いちにち当たり18本、片道、上下線平均、2017年

千葉中央駅東口、いちにち当たり18本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、99施設

生活関連経路延長、約25,670メートル

500メートル圏人口、5,568人

500メートル圏高齢者数、1,068人

500メートル圏高齢化率、19%

なお、JR千葉駅を中心に500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

・東千葉駅東側の施設（病院・公民館等）を含むよう地区拡大

なお、JRの乗降客すうは乗車人員公表ちを2倍した値

バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

　千葉都心地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも平均的で、高齢化率が比較的低い地区です。駅周辺の土地利用は商業・事務所系となっており、市内で最大の都市機能誘導区域が設定されています。千葉駅から県庁周辺、市役所からケーズハーバー周辺に、主要公共施設、文化施設、病院、大規模店舗、宿泊施設などが集積しています。

　JR千葉駅をはじめJR線4駅、京成線3駅、モノレール7駅、旅客船ターミナルの15の旅客施設が立地し、そのうち9施設がいちにちあたり3000人以上の乗降客すうとなっています。

　JR千葉駅は、市内で乗降客すうが最も多い駅です。バス便数も最も多くなっています。

　駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化され充実していますが、一部、歩道上の勾配や視覚障害者誘導用ブロックの劣化、施設間や施設内の案内誘導等、移動の連続性が十分ではない状況も見受けられ、経路・施設の一体てきなバリアフリー化のさらなる推進が求められます。また、千葉市の中心として都市整備は一定レベルの水準に達している中で、情報提供、案内誘導、心のバリアフリーの充実などソフト施策の充実が図られることが期待されています。

　地区内では駅周辺の再開発事業や新庁舎整備、千葉公園の再整備等に向けて検討が進められており、これらの取組と連携しバリアフリーのまちづくりの充実が図られることが期待されます。

■バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体てきなバリアフリー化を図ります。

6

千葉都心地区の地図があります。

地図に表示されている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設

1、モノレール千葉公園駅

2、京成新千葉駅

3、モノレール葭川公園駅

4、モノレールさかえちょう駅

5、モノレール県庁前駅

6、ケーズハーバー

7、JR千葉駅

8、JR千葉みなと駅

9、JR東千葉駅

10、JR本千葉駅

11、京成千葉駅

12、京成千葉中央駅

13、モノレール市役所前駅

14、モノレール千葉駅

15、モノレール千葉みなと駅

公共施設

1、新宿郵便局

2、千葉県警察本部

3、千葉県庁

4、千葉公共職業安定じょ

5、千葉市役所

6、千葉中央警察署

7、千葉東税務署

8、中央区役所

9、にほんねんきんきこう、千葉ねんきん事務所

10、千葉CCプラザない郵便局

11、千葉院内郵便局

12、千葉駅前大通り郵便局

13、千葉ガーデンタウン郵便局

14、千葉県庁内郵便局

15、千葉新町郵便局

16、千葉中央郵便局

17、千葉中央四郵便局

18、本千葉駅前郵便局

19、若葉郵便局

20、千葉椿森郵便局

21、市役所前市民センター

22、中央市税出張所

23、千葉市消費生活センター

集会施設

1、椿森公民館

2、千葉市民会館

3、中央コミュニティセンター

福祉施設

1、にこにこルーム（新宿保育所内）

2、千葉市あんしんケアセンター中央

3、千葉市社会福祉協議会

保健施設・病院

1、千葉みなと病院

2、三愛記念病院

3、井上記念病院

4、国立病院機構千葉医療センター

5、柏戸病院

6、総合保健医療センター

7、中央保健福祉センター

8、千葉市保健じょ

9、医療法人社団福生会　斎藤労災病院

文化・教養・教育施設

1、県立中央図書館

2、県立美術館

3、千葉市美術館

4、千葉市生涯学習センター

5、文化センター

6、きぼーる

7、千葉ポートアリーナ

8、千葉市中央図書館

9、千葉市科学館

10、千葉職業能力開発短期大学校

大規模店舗

1、ＢＯＯＫＯＦＦスーパーバザー東千葉祐光

2、千葉ＥＸビル

3、ポートタウン

4、千葉ショッピングセンター　C・one

5、ペリエ千葉店

6、千葉ポートスクエア

7、千葉ポートパーク

8、にっとち千葉ビル

9、株式会社そごう・西武 そごう千葉店

10、塚本大千葉ビル ヨドバシカメラ 千葉店

宿泊施設

1、ホテルシュランザＣＨＩＢＡ

2、ホテルサンシティ千葉

3、ホテルサンルート千葉

4、バーディーホテル千葉

5、ＨＯＴＥＬ　リブマックス　千葉駅前

6、公立学校共済組合千葉宿泊じょ　ポ－トプラザちば

7、三井ガーデンホテル千葉

8、ＨＯＴＥＬ　リブマックス　千葉みなと駅前

9、千葉県市町村職員共済会館　オークラ千葉ホテル

10、東横イン千葉みなと駅前

11、ベッセルイン千葉駅前

12、東横イン千葉駅前

13、東横イン千葉駅東口

14、ダイワロイネットホテル千葉駅前

15、千葉ワシントンホテル

16、スーパーホテル千葉駅前

17、ダイワロイネットホテル千葉中央

18、京成ホテルミラマーレ

19、HOTEL　BaliAn　RESORT千葉中央店

20、ホテルテトラ千葉みなと駅前

都市公園

1、みなと公園

2、千葉公園

3、いのはな公園

4、羽衣公園

駐車場

1、さかえちょう立体駐車場

なお、中央区役所と千葉市社会福祉協議会と中央保健福祉センターと、きぼーるはどういつ建築物内にあります。

また、千葉CCプラザない郵便局と、市役所前市民センターと、中央コミュニティセンターはどういつ建築物内にあります。

また、総合保健医療センターと千葉市保健所はどういつ建築物内にあります。

また、千葉市生涯学習センターと千葉市中央図書館はどういつ建築物内にあります。

写真が2枚あります。JR千葉駅東口と、JR千葉駅駅前広場の写真です。

７、JR蘇我地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、都心

面積、促進地区、227ヘクタール

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JR蘇我駅、68,378人、2019年度

バス便数、蘇我駅東口、いちにちあたり156本、片道、上下線平均、2017年

蘇我駅東入口、いちにちあたり151本、片道、上下線平均、2017年

蘇我駅西口、いちにちあたり45本、片道、上下線平均、2017年

蘇我駅入口、いちにちあたり1本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、19施設

生活関連経路延長、約ろくせんななひゃくにじゅうメートル

500メートル圏人口、6,683人

500メートル圏高齢者数、千六十人

500メートル圏高齢化率、16％

なお、JR蘇我駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年、国勢調査4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

千葉宮崎郵便局を含むよう地区拡大

京成千葉寺駅までの経路を含むよう地区拡大

なお、JRの乗降客すうは、乗車人員公表ちを2倍した値、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

JR蘇我地区は、駅周辺の人口が、促進地区のうちでも平均的で、高齢化率が低い地区です。駅から500メートル程度の範囲内に主に公共施設、ホテル、病院が立地し、1km圏のうみ側には、スポーツ施設やショッピングセンターが立地しています。

駅周辺の主な土地利用は、商業、事務所系となっており、駅を中心に都市機能誘導区域が設定されています。

JR蘇我駅の乗降客すう及びバス便数は多く、東口からはJR千葉駅やJR鎌取駅方面へ、西口からは蘇我スポーツ公園方面へのアクセスが充実しています。また、駅とハーバーシティ蘇我間はノンステップバスによる無料巡回バスが運行されています。

駅や主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、東口側では歩道がない道路や、狭い道路が多く、視覚障害者誘導用ブロックが無いなど、バリアフリー化されていない区間があり、駅前広場のトイレは狭く少ないことから、改善が求められています。また、東口駅前広場や西口の歩道きょう部など、一部視覚障害者誘導用ブロックの規格が古い箇所や劣化が目立つ箇所があります。

蘇我スポーツ公園の整備が進んでおり、整備の進捗に合わせて更なる来訪者の増加が見込まれます。また、東口駅前広場再整備に関する検討が進んでいます。これらの取組と連携し、バリアフリーのまちづくりの充実が図られることが期待されます。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体てきなバリアフリー化を図ります。

バス停留所の利用環境の向上、及びバス停留所と生活関連施設間の安全・安心な誘導を図ります。

７、JR蘇我地区の地図があります。

地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、JR蘇我駅

公共施設、1、千葉南公共職業安定じょ、2、千葉今井郵便局、3、蘇我駅前連絡所、４、千葉宮崎郵便局

集会施設、1、宮崎公民館、２、蘇我コミュニティセンター

福祉施設、１、蘇我いきいきセンター

保健施設・病院、１、千葉メディカルセンター、２、さんあい記念蘇我病院

文化、教養、教育施設、１、フクダ電子アリーナ

大規模店舗、１、グローボ、２、ケーズデンキハーバーシティ蘇我店、３、アリオ蘇我、４、ホームズ蘇我店、５、フェスティバルウォーク蘇我

宿泊施設、1、アーバンホテルさんこう、２、ドーミーイン千葉シティ蘇我

都市公園、１、千葉市蘇我スポーツ公園

なお、蘇我駅前連絡所と、蘇我コミュニティセンターは、どういつ建築物内です。

写真が４枚あります。JR蘇我駅、フクダ電子アリーナ、JR蘇我駅西口歩道きょう、ハーバーシティ蘇我無料巡回バスの写真です。

８、JR浜野地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、地域拠点

面積、促進地区、よんじゅってんごヘクタール

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JR浜野駅、15038にん、2019年度

バス便数、浜野駅東口、いちにちあたり44本、片道、上下線平均、2017年

浜野駅前、いちにちあたり17本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、５施設

生活関連経路延長、約ななひゃくじゅうメートル

500メートル圏人口、5,297人

500メートル圏高齢者数、1,191人

500メートル圏高齢化率、22％

なお、JR浜野駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点、なし

なお、JRの乗降客すうは、乗車人員公表ちを2倍した値、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

JR浜野地区は、駅周辺の人口及び高齢化率が、促進地区のうちでも平均的な地区です。駅から500メートル程度の範囲内に、病院、福祉施設が立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅であり、駅を中心にコンパクトな都市機能誘導区域が設定されています。

JR浜野駅の乗降客すうは平均的で、バス便数は少なく、鎌取駅方面、菊間団地方面へアクセスしています。

駅や駅前広場、主な施設は基本的にバリアフリー化されていますが、西口側の経路は歩道がない道路や狭い道路であり、バリアフリー化は困難な状況です。東側では、新たに生活関連施設に追加したホテルへの経路で、視覚障害者誘導用ブロックが未整備となっています。駅周辺に案内ひょうじが少なく、案内の充実が求められます。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

駅前広場の利便性を向上します。

８、JR浜野地区の地図があります。地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、JR浜野駅

福祉施設、1、千葉市あんしんケアセンター浜野

保健施設・病院、１、いしごうおか病院

大規模店舗、１、ベルク千葉浜野店

宿泊施設、1、チサンイン千葉浜野R16

写真が２枚あります。JR浜野駅、JR浜野駅東口駅前広場の写真です。

９、JR鎌取地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、重要地域拠点

面積、促進地区、76ヘクタール

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JR鎌取駅、41,386人、2019年度

バス便数、鎌取駅南口、いちにちあたり252本、片道、上下線平均、2017年

鎌取駅北口、いちにちあたりにひゃくにほん、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、11施設

生活関連経路延長、約3330メートル

500メートル圏人口、5,682人

500メートル圏高齢者数、822人

500メートル圏高齢化率、14％

なお、JR鎌取駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査4次、500ｍメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点、ありよしかいづか公園を含むよう地区拡大

なお、JRの乗降客すうは、乗車人員公表ちを2倍した値、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

JR鎌取地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも平均的で、高齢化率が低い地区です。駅南口は歩行者専用どうとなっており、公共施設、集会施設、福祉施設、大規模店舗が集積しています。1km圏域内に広域からの利用が想定される、しもふさ精神医療センターが立地しています。駅周辺の主な土地利用は商業・業務系、ちゅうこうそう住宅が多く、駅南側に都市機能誘導区域が設定されています。

JR鎌取駅の乗降客すうは平均的です。バス便数は比較的多く、千葉・蘇我駅方面やほんだ駅方面などへアクセスしています。

南口側の駅や道路、施設は基本的に歩道が広く、視覚障害者誘導用ブロックが整備されているなどバリアフリー化されていますが、デッキ構造となっていることから、バリアフリールートの案内の充実などが必要です。北口側では大網街道の歩道が狭く、またしもふさ精神医療センター方面への経路はろそくたいもない道路となっており、歩行環境の改善が求められます。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

駅前広場の利便性を向上します。

９、JR鎌取地区の地図があります。地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、JR鎌取駅

公共施設、１、みどり区役所、２、千葉みどり郵便局、３、みどり市税出張所

集会施設、１、鎌取コミュニティセンター

福祉施設、1、千葉市あんしんケアセンター鎌取

保健施設・病院、１、国立病院機構しもふさ精神医療センター、２、みどり保健福祉センター

文化、教養、教育施設、１、県立千葉ろう学校

大規模店舗、１、イオンスタイル鎌取

都市公園、1、ありよしかいづか公園

なお、みどり区役所とみどり市税出張所、千葉市あんしんケアセンター鎌取とイオンスタイル鎌取はどういつ建築物内です。

写真が２枚あります。JR鎌取駅、JR鎌取駅前ペデストリアンデッキの写真です。

10、JRほんだ地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、地域拠点

面積、促進地区、63.9ヘクタール

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JRほんだ駅、14068人、2019年度

バス便数、ほんだ駅南口、いちにちあたり86本、片道、上下線平均、2017年

ほんだ駅北口、いちにちあたり2本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、４施設

生活関連経路延長、約せんはっぴゃくはちじゅうメートル

500メートル圏人口、4,265人

500メートル圏高齢者数、1,298人

500メートル圏高齢化率、さんじゅっぱーせんと

なお、JRほんだ駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点、ほんだ駅前郵便局、ほんだ市民センターを含むよう地区拡大

なお、JRの乗降客すうは、乗車人員公表ちを2倍した値、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

JRほんだ地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも少なく、高齢化率が比較的高い地区です。駅から500メートル程度の範囲内に郵便局、1km圏内に病院、市民センターが立地しています。駅周辺の主な土地利用は住宅となっており、駅周辺にコンパクトに都市機能誘導区域が設定されています。

JRほんだ駅の乗降客すうは平均的です。バス便数は少なく、鎌取駅・蘇我駅方面、おち地域へアクセスしています。

駅及び北口の経路・施設は基本的にバリアフリー化されていますが、南口側では大網街道で狭い歩道が断続的に設置されている状況であり、バリアフリー化されていません。また、駅から大網街道をはさんで南口駅前広場については、バスと自動車が錯綜している現状があり、予定されている整備事業において道路横断時の安全性の確保が求められます。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体てきなバリアフリー化を図ります。

10、JRほんだ地区の地図があります。地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、JRほんだ駅

公共施設、１、ほんだ市民センター、２、ほんだ駅前郵便局

保健施設・病院、１、千葉南病院

写真が２枚あります。JRほんだ駅、JRほんだ駅南口の大網街道の写真です。

11、JR土気地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、地域拠点

面積、促進地区、115ヘクタール

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JR土気駅、26,156人、2019年度

バス便数、土気駅南口、いちにちあたり157本、片道、上下線平均、2017年

土気駅北口、いちにちあたり42本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、14施設

生活関連経路延長、約さんぜんよんひゃくななじゅうメートル

500メートル圏人口、4,244人

500メートル圏高齢者数、せんよんじゅうさんにん

500メートル圏高齢化率、25％

なお、JR土気駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点、桜ほっとステーション親子を含むよう地区拡大

なお、JRの乗降客すうは、乗車人員公表ちを2倍した値、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

JR土気地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも少なく、高齢化率は平均的な地区です。駅から500メートル程度の範囲内に公共施設、集会施設、福祉施設が集積し、1km程度離れたあすみが丘に病院、複合施設、大規模店舗が立地しています。

駅周辺の主な土地利用は住宅であり、駅南側に設定された都市機能誘導区域の一部は、あすみが丘バーズモールとして歩行者専用空間となっています。

JR土気駅の乗降客すう及びバス便数は平均的で、南口からあすみが丘方面、北口からおおじだい団地・ほんだ駅方面へアクセスしています。

駅及び駅前広場、南口側の道路、施設は基本的にバリアフリー化されていますが、あすみが丘ブランニューモール付近は長い坂道であり、車椅子による移動では負担が大きい経路です。駅北口側は大網街道で狭い歩道が断続的に続き、段差や勾配がありバリアフリー化が困難な状況です。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

駅前広場の利便性を向上します。

バス停留所の利用環境の向上、及びバス停留所と生活関連施設間の安全・安心な誘導を図ります。

11、JR土気地区の地図があります。地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、JR土気駅

公共施設、１、土気市民センター、２、土気郵便局、３、土気駅前郵便局

集会施設、１、土気公民館、２、土気あすみが丘プラザ

福祉施設、１、千葉市あんしんケアセンター土気、２、桜ほっとステーション親子、３、土気いきいきセンター

保健施設・病院、１、かがみど病院

文化、教養、教育施設、１、みどり図書館土気図書室、２、みどり図書館あすみが丘分館

大規模店舗、１、あすみが丘ブランニューモール、２、あすみが丘バーズモール

なお、土気市民センターと土気いきいきセンターとみどり図書館土気図書室、とけあすみが丘プラザとみどり図書館あすみが丘分館はどういつ建築物内です。

写真が２枚あります。JR土気駅南口駅前広場、JR土気駅北口の大網街道の写真です。

12、JR、モノレール都賀地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、重要地域拠点

面積、促進地区、42.2ヘクタール

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JR都賀駅、42,168人、2019年度

モノレール都賀駅、12,194人、2019年度

バス便数、都賀駅東口、いちにちあたり176本、片道、上下線平均、2017年

都賀駅西口、いちにちあたり47本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、15施設

生活関連経路延長、約せんごひゃくさんじゅうメートル

500メートル圏人口、8,246人

500メートル圏高齢者数、1,753人

500メートル圏高齢化率、21％

なお、JR都賀駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点、都市機能誘導区域を含むよう地区拡大

若葉図書館西都賀分館を含むよう地区拡大

なお、JRの乗降客すうは、乗車人員公表ちを2倍した値、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

JR、モノレール都賀地区は、駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的多く、高齢化率の比較的低い地区です。駅から500メートル程度の所に、若葉区役所や若葉保健福祉センター等の公共施設が集積しています。駅周辺の主な土地利用は住宅であり、駅の南東側に都市機能誘導区域が設定されています。乗換駅であり、JR都賀駅の乗降客すうは市内でも比較的多いです。バス便数は平均的な本数となっています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化され、連続して視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていますが、一部劣化している箇所や、電柱と視覚障害者誘導用ブロックの距離が近すぎる箇所、側溝の蓋の隙間が大きい箇所が見受けられます。駅周辺では路上ちゅうりんが多く、移動の妨げとなっています。また、JR都賀駅とモノレール都賀駅へ向かうルートの分岐点においてわかりやすい案内誘導が求められています。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

駅前広場の利便性を向上します。

12、JR、モノレール都賀地区の地図があります。地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、JR都賀駅、２、モノレール都賀駅

公共施設、１、若葉区役所、２、千葉西都賀郵便局、３、都賀駅前郵便局、４、東部市税事務所

集会施設、１、都賀コミュニティセンター

福祉施設、１、都賀いきいきセンター、２、千葉市あんしんケアセンター桜木

保健施設・病院、１、若葉保健福祉センター

文化、教養、教育施設、１、若葉図書館西都賀分館

大規模店舗、１、ルームデコ都賀本店、２、マルエツ新都賀店、３、せいゆう都賀店、４、コナミスポーツクラブ都賀

なお、若葉区役所と東部市税事務所、都賀コミュニティセンターと都賀いきいきセンターはどういつ建築物内です。

写真が２枚あります。JR都賀駅東口駅前広場、JR都賀駅西口駅前広場の写真です。

13、JR検見川浜地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、地域拠点

面積、促進地区、194ヘクタール

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JR検見川浜駅、31,270人、2019年度

バス便数、検見川浜駅、いちにちあたり208本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、15施設

生活関連経路延長、約5,470メートル

500メートル圏人口、15,090人

500メートル圏高齢者数、4,383人

500メートル圏高齢化率、29％

なお、JR検見川浜駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

都市機能誘導区域、まさごいきいきセンターを含むよう地区拡大

JR稲毛海岸地区と重複しないように地区境界を精査

なお、JRの乗降客すうは、乗車人員公表ちを2倍した値、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

JR検見川浜地区は、駅周辺の人口が促進地区の中で最も多く、高齢化率も比較的高い地区です。駅前から北口方面は歩行者専用どうとなっており、沿道におもに地域住民の利用が想定される、公共施設や大規模店舗が立地しています。駅を囲うように集合住宅が多く立地しており、北東側に都市機能誘導区域が設定されています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化され、連続して視覚障害者誘導用ブロックが敷設されています。広域から利用が想定される２つの病院（千葉県救急医療センター、海浜病院）は駅から1km以上離れており、バス利用が多いことが想定されます。海浜病院内へのバス便は少ないことから、近隣の磯辺８丁目バス停の利便性向上やわかりやすい案内誘導が求められます。

JR稲毛海岸駅との駅徒歩圏が重なっており、連続的な移動への配慮が求められます。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

駅前広場の利便性を向上します。

バス停留所の利用環境の向上、及びバス停留所と生活関連施設間の安全・安心な誘導を図ります。

13、JR検見川浜地区の地図があります。

地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、JR検見川浜駅

公共施設、1、千葉西警察署、2、美浜区役所、3、千葉西県税事務所、４、美浜郵便局、５、西部市税事務所

福祉施設、１、千葉市安心ケアセンターまさご、２、まさごいきいきセンター

保健施設・病院、１、千葉県救急医療センター、２、海浜病院、３、美浜保健福祉センター

文化、教養、教育施設、１、美浜文化ホール、２、東京歯科大学

大規模店舗、１、ショッピングセンターピア、２、イオンスタイル検見川浜

都市公園、１、まさご中央公園

なお、美浜区役所と西部市税事務所、千葉市あんしんケアセンターまさごとショッピングセンターピア、美浜保健福祉センターと美浜文化ホールは、どういつ建築物内です。

写真が２枚あります。JR検見川浜駅北口駅前広場、JR検見川浜駅南口の写真です。

14、JR稲毛海岸地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、地域拠点

面積、促進地区、50.3ヘクタール

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JR稲毛海岸駅、43432人、2019年度

バス便数、稲毛海岸駅、いちにちあたり334本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、10施設

生活関連経路延長、約2970メートル

500メートル圏人口、13208人

500メートル圏高齢者数、3051人

500メートル圏高齢化率、23％

なお、JR稲毛海岸駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

JR検見川浜地区と重複しないように地区境界を精査

千葉市あんしんケアセンター高洲を含むよう地区拡大

なお、JRの乗降客すうは、乗車人員公表ちを2倍した値、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

JR稲毛海岸地区は駅周辺の人口が促進地区のうちでJR検見川浜地区に次いで多く、高齢化率は平均的な地区です。駅から500メートル程度の範囲内に、大規模店舗や福祉施設が立地しています。

駅周辺の主な土地利用は商業及び住居であり、駅を囲うように集合住宅が多く立地しています。駅南側に都市機能誘導区域が設定されています。また、JR稲毛海岸駅の乗降客すう、バス便数は比較的多くなっています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、整備から時間が経過している区間では、一部、歩道上の勾配や視覚障害者誘導用ブロックの劣化、色が不揃いの箇所が見受けられます。また、ちゅうりん状況の改善を求める声もあり、ソフトてきな対策も求められています。

JR検見川浜駅との駅徒歩圏が重なっており、連続的な移動への配慮が求められます。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

駅前広場の利便性を向上します。

14、JR稲毛海岸地区の地図があります。

地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、JR稲毛海岸駅

公共施設、1、稲毛海岸駅前郵便局

集会施設、１、高須コミュニティセンター

福祉施設、１、千葉市安心ケアセンター高洲、２、美浜いきいきプラザ、３、療育センター

文化、教養、教育施設、１、高須スポーツセンター

大規模店舗、１、マリンピア、２、イオンマリンピア専門館

宿泊施設、１、テトランゼ幕張稲毛海岸ホテル

写真が２枚あります。JR稲毛海岸駅、JR稲毛海岸駅南口の写真です。

15、モノレールスポーツセンター地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、連携地域拠点

面積、促進地区、99.9ヘクタール

旅客施設（いちにち当たり2000人以上）、乗降客すう

モノレールスポーツセンター駅、4,739人、2019年度

バス便数、スポーツセンター駅、いちにちあたり280本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、５施設

生活関連経路延長、約1180メートル

500メートル圏人口、4,582人

500メートル圏高齢者数、1,304人

500メートル圏高齢化率、28％

なお、モノレールスポーツセンター駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

あやめ台団地都市機能誘導区域、あやめ台いきいきセンターを含むよう地区拡大

なお、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

モノレールスポーツセンター地区は駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的少なく、高齢化率の比較的高い地区です。駅周辺の主な土地利用は住宅及び都市公園・緑地であり、北側に位置するあやめ台団地に都市機能誘導区域が設定されています。

モノレールスポーツセンター駅は交通結節点となっており、駅からのバス便数は平均的で、特にあやめ台団地方面へのアクセスが充実していますが、駅前広場における案内等は簡素なものとなっています。

千葉県総合スポーツセンターは老朽化した施設が多く、順次大規模改修を進めています。スポーツセンターへ至る経路は、歩道の凹凸が大きく危険な箇所が指摘されています。また、バスによる利用も想定されるため、バス停付近におけるわかりやすい案内誘導が求められます。あやめ台団地に至る経路は歩道が狭く、視覚障害者誘導用ブロックも設置されていません。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

駅前広場の利便性を向上します。

15、モノレールスポーツセンター地区の地図があります。

地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、モノレールスポーツセンター駅

公共施設、1、千葉あやめ台郵便局

福祉施設、１、あやめ台いきいきセンター

文化、教養、教育施設、１、千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター、２、千葉県総合スポーツセンター

写真が２枚あります。モノレールスポーツセンター駅、駅からスポーツセンターへの経路上の一部の写真です。

16、モノレールちしろだい地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、地域拠点

面積、促進地区、57.8ヘクタール

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

モノレールちしろだい駅、8175人、2019年度

モノレールちしろだい北駅、2093人、2019年度

バス便数、ちしろだい駅、いちにちあたり245本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、11施設

生活関連経路延長、約2090メートル

500メートル圏人口、4932人

500メートル圏高齢者数、1877人

500メートル圏高齢化率、38％

なお、モノレールちしろだい駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点、ちしろだい北駅を含むよう地区拡大

なお、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

モノレールちしろだい地区は駅周辺の人口が促進地区のうちでも比較的少なく、高齢化率の高い地区です。駅から300メートル程度の範囲内に、集会施設等が集中して立地しています。

駅周辺の主な土地利用は商業及び住宅であり、南西側に都市機能誘導区域が設定されています。バス便数は平均的で、特に千葉駅方面へのアクセスが充実しています。

駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化されていますが、整備時期が古い区間では、舗装のがたつきや視覚障害者誘導用ブロックの規格が不揃いの箇所が見受けられます。また、駅前広場においては歩道の狭い箇所や案内が十分でない箇所があり、バス停については、停車位置により看板や柱と重なり乗車しにくい等の声があり、改善が求められています。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

駅前広場の利便性を向上します。

16、モノレールちしろだい地区の地図があります。

地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、モノレールちしろだい駅、２、モノレールちしろだい北駅

公共施設、1、千葉東警察署、2、ちしろだい市民センター、3、ちしろだい郵便局

集会施設、１、ちしろだい公民館、２、ちしろだいコミュニティセンター

福祉施設、１、千葉市安心ケアセンターちしろだい

文化、教養、教育施設、１、若葉図書館

大規模店舗、１、フードスクエアちしろだいてん、２、イコアスちしろだい

なお、ちしろだい市民センターとちしろだいコミュニティセンターは、どういつ建築物内です。

写真が２枚あります。モノレールちしろだい駅、モノレールちしろだい駅前バス停の写真です。

17、JR海浜幕張地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、都心

面積、促進地区、381ヘクタール

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

JR海浜幕張駅、136222人、2019年度

バス便数、海浜幕張駅、いちにちあたり712本、片道、上下線平均、2017年

海浜幕張駅南口、いちにちあたり126本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、30施設

生活関連経路延長、約9270メートル

500メートル圏人口、1565人

500メートル圏高齢者数、128人

500メートル圏高齢化率、8％

なお、JR海浜幕張駅を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

JR/京成幕張地区と重複しないように地区境界を精査

千葉県運転免許センターを含むよう地区拡大

イオンモール幕張新都心及び新駅を含むよう地区拡大

なお、JRの乗降客すうは乗車人員公表ちを2倍した値、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

JR海浜幕張地区は駅周辺の人口が促進地区のうちで最も少なく、高齢化率も最も低い地区です。駅から500メートル程度の範囲内に、大規模店舗や宿泊施設が立地しています。

駅周辺の主な土地利用は商業であり、南側に広く都市機能誘導区域が設定されています。JR海浜幕張駅の乗降客すうは千葉都心に次いで多く、バスは幕張新都心の地域内や幕張本郷駅方面で充実しています。また、地区の西側では新駅の設置が進められており、併せてその周辺地区の住宅開発が予定されています。

駅周辺は歩行者デッキで結ばれ、比較的バリアフリー化が進行しています。また、幕張メッセが東京2020大会の会場となることを受け、駅から会場周辺までの再整備が実施されています。一方、北口駅前広場は多くのバス便数に対して、島型の停留所となっており車道を横断する必要があるため、停留所への安全なアクセスや情報提供が十分でない部分が指摘されています。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

関連するまちづくり事業等に合わせた連続的・一体てきなバリアフリー化を図ります。

バス停留所の利用環境の向上、及びバス停留所と生活関連施設間の安全・安心な誘導を図ります。

17、JR海浜幕張地区の地図があります。

地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、JR海浜幕張駅

公共施設、1、ワールドビジネスガーデン内郵便局、2、幕張テクノガーデン内郵便局、3、イオンモール幕張新都心内郵便局、４、千葉運転免許センター

集会施設、１、幕張勤労市民プラザ

福祉施設、１、障害者職業総合センター

文化、教養、教育施設、１、県立保健医療大学、２、幕張メッセ、３、ゾゾマリンスタジアム、４、放送大学

大規模店舗、１、イオンモール幕張新都心、２、幕張メッセ国際展示じょう、３、スーク海浜幕張、４、イオン幕張店、５、ルームデコかねたや幕張新都心店、６、三井アウトレットパーク幕張、７、プレナ幕張

宿泊施設、１、セミナーハウスクロス・ウェーブ幕張、２、幕張国際研修センター、３、ホテルスプリングス幕張、４、ホテルグリーンタワー幕張、５、ホテル　ザ・マンハッタン、６、アパホテル　リゾート　東京ベイ幕張、７、ホテル　フランクス、８、ホテルニューオータニ幕張、９、ＪＡ共済幕張研修センター

都市公園、１、幕張海浜公園

駐車場、１、千葉県幕張新都心第一地下駐車場、２、千葉県幕張新都心第二地下駐車場

なお、幕張テクノガーデン内郵便局とセミナーハウス　クロス・ウェーブ幕張、イオンモール幕張新都心内郵便局とイオンモール幕張新都心は、どういつ建築物内です。

写真が３枚あります。JR海浜幕張駅駅前広場の写真と国際大通りの歩道の写真とイオンモール幕張新都心の写真です。

18、いちりつ青葉病院周辺地区

地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、なし

面積、促進地区、242ヘクタール

旅客施設、いちにち当たり2000人以上、乗降客すう

京成ちばでら駅、4907人、2019年度

バス便数、いちりつ青葉病院、いちにちあたり154本、片道、上下線平均、2017年

ちばでら駅、いちにちあたり35本、片道、上下線平均、2017年

ちばでら駅入口、いちにちあたり30本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、10施設

生活関連経路延長、約2340メートル

500メートル圏人口、4448人

500メートル圏高齢者数、1069人

500メートル圏高齢化率、24％

なお、いちりつ青葉病院を中心に、500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点、なし

なお、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

地区の特徴と課題

いちりつ青葉病院周辺地区は、複数の病院や障害者施設が集積しており、促進地区の中で唯一都市機能誘導区域を含まない地域です。青葉病院周辺の人口は促進地区のうちでも比較的少なく、高齢化率は平均的です。青葉病院周辺の主な土地利用は住宅・公共公益用地・都市公園等です。バス便数は促進地区の中では比較的少ないですが、千葉駅方面へのアクセスが充実しています。青葉病院から最寄りの京成ちばでら駅までは1.5㎞程度あり、主にバスによるアクセスが見込まれることから、バス利用環境の向上が求められます。

京成ちばでら駅には多機能トイレが無く、一般トイレでいりぐちには階段があることから、改善が求められています。駅や道路、主な公共施設は基本的にバリアフリー化され、連続して視覚障害者誘導用ブロックが敷設されていますが、整備時期が古い区間では、一部舗装のがたつきや視覚障害者誘導用ブロックの色や規格が不揃いの箇所が見受けられます。

バリアフリー方針

駅から主な生活関連施設間の歩行環境の向上を図ります。

駅前広場の利便性を向上します。

バス停留所の利用環境の向上、及びバス停留所と生活関連施設間の安全・安心な誘導を図ります。

18、いちりつ青葉病院周辺地区の地図があります。

地図にひょうじされている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

旅客施設、1、京成ちばでら駅

公共施設、1、千葉大学病院内簡易郵便局

福祉施設、１、障害者福祉センター、２、千葉市ハーモニープラザ

保健施設、病院、１、国立大学法人千葉大学医学部付属病院、２、青葉病院

文化、教養、教育施設、１、芸術文化ホール、２、国立大学法人千葉大学いのはなキャンパス、３、中央博物館

都市公園、１、青葉の森公園

なお、千葉大学病院内簡易郵便局と国立大学法人千葉大学医学部付属病院、障害者福祉センターと千葉市ハーモニープラザは、どういつ建築物内です。

写真が２枚あります。京成ちばでら駅の写真と青葉病院の写真です。

19

大宮台団地地区

■地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、連携地域拠点

面積、促進地区、2.1ha

バス便数、大宮団地、１日あたり140本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、3施設

生活関連経路延長、約130メートル

500メートル圏人口、2,847人

500メートル圏高齢者数、1,232人

500メートル圏高齢化率、43%

なお、千葉中央バス大宮団地バスターミナルを中心に500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

都市機能誘導区域が指定されている団地で、大宮台連絡じょ、千葉大宮郵便局、千葉市あんしんケアセンター大宮台を含むよう、地区設定

なお、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

　大宮台団地地区は500メートル圏人口が促進地区のうちでも少なく、高齢化率がこてハシ台団地地区に次いで高い地区です。アクセスの拠点となる大宮団地バスターミナルの南側に公共施設、福祉施設が立地し、コンパクトに都市機能誘導区域が設定されています。バスは千葉駅方面へのアクセスが比較的充実しています。

　バス停から生活関連施設間において、案内誘導やでいりぐちの移動の連続性が十分ではない状況が見受けられ、経路・施設間の一体てきなバリアフリー化が求められます。また、大宮団地バスターミナルを中心にバス利用者が多く見込まれることから、バスの利用環境の向上が求められます。

■バリアフリー方針

バス停留所の利用環境の向上、及びバス停留所と生活関連施設間の安全・安心な誘導を図ります。

19、大宮台団地地区の地図があります。地図に表示されている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

公共施設

１、大宮台連絡じょ

２、千葉大宮郵便局

福祉施設

１、千葉市あんしんケアセンター大宮台

写真が2枚あります。大宮団地バスターミナルと、大宮台連絡所・千葉大宮郵便局の写真です。

20

こてハシ台団地地区

■地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、連携地域拠点

面積、促進地区、1.7ha

バス便数、こてハシ第三、いちにち当たり98本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、3施設

生活関連経路延長、約140メートル

500メートル圏人口、2,776人

500メートル圏高齢者数、1,216人

500メートル圏高齢化率、44%

なお、こてハシ第三バス停を中心に500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

都市機能誘導区域が指定されている団地で、千葉こてハシ台郵便局、千葉市あんしんケアセンターこてハシ台、花見川図書館を含むよう地区設定

なお、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

　こてハシ台団地地区は500メートル圏人口が促進地区のうちでもJR海浜幕張駅地区に次いで少なく、高齢化率が最も高い地区です。

　こてハシ第三バス停から概ね100メートル程度の範囲内に公共施設、福祉施設、文化施設が立地しており、コンパクトに都市機能誘導区域が設定されています。

　バスはやちよ市内の京成勝田台駅方面へのアクセスが比較的充実していますが、一部バス停留所においては、休憩施設等の設備が十分でなく、利用環境の向上が必要となっています。また、バス停留所には視覚障害者誘導用ブロックが設置されておらず、停留所から生活関連施設間の経路において移動の連続性の向上が求められます。

■バリアフリー方針

・バス停留所の利用環境の向上、及びバス停留所と生活関連施設間の安全・安心な誘導を図ります。

20、こてハシ台団地地区の地図があります。地図に表示されている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

公共施設

1、千葉こてハシ台郵便局

福祉施設

1、千葉市あんしんケアセンターこてハシ台

文化・教養・教育施設

1、花見川図書館

写真が2枚あります。千葉こてハシ台郵便局と、花見川図書館の写真です。

21

さつきが丘団地地区

■地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、連携地域拠点

面積、促進地区、4.8ha

バス便数

さつきが丘第二、いちにちあたり210本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、5施設

生活関連経路延長、約700メートル

500メートル圏人口、6,366人

500メートル圏高齢者数、2,095人

500メートル圏高齢化率、33%

なお、さつきが丘第二バス停を中心に500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

都市機能誘導区域が指定されている団地で、さつきが丘市民センター、花見川郵便局、さつきが丘公民館、千葉市あんしんケアセンターさつきが丘、さつきが丘いきいきセンターを含むよう地区設定

なお、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

　さつきが丘団地地区は500メートル圏人口が促進地区のうちでも平均的で、高齢化率の高い地区です。バス停から200メートル程度の範囲内に公共施設や福祉施設が立地しており、東西に細長く都市機能誘導区域が設定されています。

　　バスはJR新検見川駅方面のアクセスが充実しています。

　バス停留所前面の道路と立体交差する形で歩行者専用どうがあり、商店がい、や生活関連施設が面しています。道路との高低差があり、最短経路が階段や坂道となっていることから、施設への安全なバリアフリー経路がわかりにくい箇所が見受けられます。

■バリアフリー方針

バス停留所の利用環境の向上、及びバス停留所と生活関連施設間の安全・安心な誘導を図ります。

21

さつきが丘団地地区の地図があります。地図に表示されている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

公共施設

さつきが丘市民センター

１、花見川郵便局

集会施設

１、さつきが丘公民館

福祉施設

１、千葉市あんしんケアセンターさつきが丘

２、さつきが丘いきいきセンター

写真が2枚あります。さつきが丘市民センターと、さつきが丘公民館の写真です。

22

花見川団地地区

■地区の概要

位置づけ、立地適正化計画、連携地域拠点

面積、促進地区、7.6ha

バス便数、花見川交番、いちにちあたり155本、片道、上下線平均、2017年

生活関連施設数、4施設

生活関連経路延長、約570メートル

500メートル圏人口、9,167人

500メートル圏高齢者数、3,728人

500メートル圏高齢化率、41%

なお、花見川交番バス停を中心に500メートル圏の範囲で算出、2015年国勢調査、4次、500メートルメッシュ

従前の基本構想からの主な変更点

都市機能誘導区域が指定されている団地で、花見川市民センター、花見川団地内郵便局、千葉市あんしんケアセンター花見川、花見川図書館花見川団地分館を含むよう地区設定

なお、バス便数は千葉市立地適正化計画データより

■地区の特徴と課題

　花見川団地地区は500メートル圏人口が促進地区のうちでも多く、高齢化率の高い地区です。バス停から概ね100メートルの範囲内に公共施設や福祉施設が立地しています。

　バス停留所前面の道路に対して高台に団地を形成しており、生活関連施設の一部も立地しています。道路との高低差があり、最短経路が階段や坂道となっていることから、施設への安全なバリアフリー経路がわかりにくい箇所が見受けられます。

　視覚障害者誘導用ブロックは花見川図書館花見川団地分館付近にのみ設置されており、全体的な新設が必要です。

■バリアフリー方針

バス停留所の利用環境の向上、及びバス停留所と生活関連施設間の安全・安心な誘導を図ります。

22

花見川団地地区の地図があります。地図に表示されている施設のひょうがあります。

種別、施設名称の順です。

公共施設

1、花見川市民センター

2、花見川団地内郵便局

福祉施設

1、千葉市あんしんケアセンター花見川

文化・教養・教育施設

1、花見川図書館花見川団地分館

なお、花見川市民センターと花見川図書館花見川団地分館はどういつ建築物内です。

写真が2枚あります。あんしんケアセンター花見川と、花見川図書館花見川団地分館・市民センターの写真です。